

平成30年度

# 定 時 評 議 員 会 議 事 録

日 時：平成30年5月25日（金） 15：30

場 所：豊浦町中央公民館 集会室

社会福祉法人 豊浦町社会福祉協議会

# 会 議 日 程

## 1. 開 会

はじめに 平成30年度顕彰者等へ表彰状及び感謝状の贈呈

## 2. 開会挨拶 副会長理事 高橋 澄久

## 3. 議長選任（定款15条） 氏名 高橋勝美

## 4. 議事録署名人の指名（定款17条2項）

氏名 橋田正二

氏名 熊坂秀子

## 5. 報 告

報告第1号 評議員の選任（補欠）について

## 6. 議 事

議案第1号 平成29年度事業報告について

議案第2号 平成29年度本部会計収支決算について

## 7. そ の 他

### ①当面の行事予定

・ふれあい健康づくりスポーツ大会

6月23日（土） 9時30分 ふるさとドーム

## 8. 閉 会

# 会 議 録

1. 日 時 平成 30 年 5 月 25 日（金） 15:30 開会 16:40 閉会
2. 場 所 豊浦町中央公民館 集会室
3. 出席者 田中 弘、齋藤 治、上白土長幸、梅澤 均、  
高橋勝美、高橋英男、伊藤邦広、中村 明、  
吉田一孝、三澤昭男、網野稔郎、阿部和之、  
山田栄司、橋田正二、熊坂秀子、伊貸恵子  
監 事 前野俊春、河合 旬  
副会長理事 栗山明男、長谷川幹雄、高橋澄久  
欠 席 者 牧野康則、宮武 満、相川輝美、今 要、松原秀俊  
渡部正昭、奥澤 隆、高田大輔、船津みゆき、小川晃司  
草野善治、川南 勇  
事 務 局 高橋幸一、塚田 浄、浅野知佐子
4. 議 長 高橋勝美
5. 議事録署名員 橋田正二、熊坂秀子

## 会議の経過

（開会宣言）

高橋局長 只今の出席評議員数は 29 名中 16 名であります。定款第 16 条第 1 項の規定により、会議を開くのに必要な過半数の出席がありますので、会議は成立いたしました。

それでは、会議の前にですね、長年地域福祉活動にご功績のあった方、あるいは社協の事業活動にご協力をいただいた方に対しまして、表彰状並びに感謝状の贈呈を行いたいと思います。今回の表彰の対象者につきましては 6 名 5 名の個人と 1 名の団体ということでございまして、本日は代表の方 2 名がご出席されておりますので、会長に代わりまして高橋澄久副会長から表彰状・感謝状の贈呈を行いたいと思います。この度の受賞される名簿については別に紙を配布して名簿にしておりますのでそちらをご覧いただきたいと思います。

・・・表彰状及び感謝状の贈呈・・・

高橋局長 受彰者の皆様、ありがとうございました。受彰者の皆様はご退席をお願いします。

只今から平成30年度定時評議員会を開会いたします。  
それでは開会に先立ちまして、会長の仲田駿介がご挨拶を申し上げるところで  
ございますが、体調不良のため本日欠席しております。代わりまして副会長の  
高橋澄久からご挨拶申し上げます。

高橋副会長　～挨拶～

【議長選出】

高橋局長　次に議長の選任をしていただくわけですが、定款の第15条では出席  
をされている評議員の中から互選をしていただくというふうになってござい  
ますがどのように取り計らってよろしいかお伺いします。

（事務局一任の声あり）

高橋局長　事務局一任とのお声がありましたかよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

高橋局長　ありがとうございます。それでは議長には浜町自治会長の高橋勝美様にお願  
いいたします。高橋様議長席の方へお願いいたします。

議　　長　皆さんこんにちは。今日のご苦労様でした。議長ということで慣れないながら  
務めさせていただきます。スムーズな議事運営にご協力願えればと思います。  
よろしくお祈りいたします。議事録署名人の選出事務局お祈りいたします。

高橋局長　定款の17条第2項では出席をいただいております評議員の中から議事録署  
名人を2名選出していただくことになっておりますがこの件についてお祈  
りいたします。よろしくお祈りいたします。

議　　長　署名人の選出、どのように進めたらよろしいでしょうか。

（事務局一任の声あり）

議　　長　はい、事務局一任という意見が出ましたがよろしいですか。

評議員全員　はい。

議　　長　それでは事務局の方からお願いします。

高橋局長　はい。それでは議事録署名人には橋田様、並びに熊坂様の2名にお願いしたい  
と思います。よろしくどうぞお願いします。

議　　長　橋田様、熊坂様2名ということでよろしくお祈り致します。

**報告第1号**　評議員の選任（補欠）について

議　　長　続きまして第5番報告第1号　評議員の選任（補欠）について事務局より説明  
願います。

高橋局長　はい、それでは議案書の3ページをご覧ください。報告第1号でございます。評  
議員の選任（補欠）についてでございます。次の評議員から辞任の申し出があ  
ったことから評議員選任解任委員会において下記の者が評議員（補欠）に選任  
されたのでご報告するものでございます。まず、辞任の申し出をされた評議員  
ですけれども、氏名については福原賢二さんでございます。選出の区分は農業団  
体としてとうや湖農協の豊浦地区代表理事でございました。辞任の申し出日は  
平成30年4月18日でございます。辞任の理由といたしましては、選出団  
体の役員交代による申出でございます。次にお二人目ですが、氏名として徳田  
照男様でございます。選出区分は商工団体で豊浦町商工会の事務局長でござ  
います。辞任の申し出日は平成30年4月2日、理由といたしましては選出母  
体でございます豊浦町商工会を退職したためということでございます。一方補  
欠の評議員といたしまして選任をされた方でございますけど、まず氏名といたし

まして山田栄司様、選出区分は農業団体でございます。任期につきましては平成30年5月9日から前任者の任期の満了する時ということでございまして、平成33年度の定時評議員会の終結の時までということでございます。お二人目のお名前は橋田正二様でございます。選出区分は商工団体で任期といたしましては同じということでございます。以上お二人の交代がございましたのでご報告をするものでございます。以上です。

議長 はい、ありがとうございました。

高橋局長 すいません、尚ですね、本来であれば会長から委嘱状を直接手渡しするところでございますが、事前にテーブルの上に配布をさせていただきましたのでご容赦のほどお願いいたします。以上でございます。

議長 はい、新しい方が2名選出ということです。

議長 それでは議事の方に入ります。

**議案第1号** 平成29年度事業報告について

**議案第2号** 平成29年度本部会計収支決算について

議長 議案第1号、第2号続けてお願いしたいと思います。事務局お願いします。

塚田係長 はい。それでは議案書の4ページをご覧くださいと思います。議案第1号、平成29年度事業状況について、次のとおり調整しましたので定款第40条第2項の定めによりこれを報告し承認を求めるものでございます。事業報告書につきましては別冊で右肩に資料1となっているものをご覧くださいと思います。まず1ページです。当社会福祉協議会では、行政機関や自治会、福祉関係団体や福祉施設のご協力、そして地域の皆様の温かいご支援をいただき当初計画された事業に取り組み、地域福祉活動の推進、福祉サービス利用支援の推進、在宅福祉サービスの拡充、社会福祉協議会の基盤強化について、各事業を展開しました。以下2ページまで個別の事業を掲載しておりますが、3ページ以降に事業の内容について詳細に記載してございます。まず、組織体制ということで理事が14名、会長1名、副会長3名、一般理事10名で理事会を5回開催しております。次に監事が2名で4半期ごとに定期監査を行っております。評議員が29名で計2回評議員会を開催し予算、決算等の承認をいただいております。事務局は5名体制から1名増員となりまして6名体制で実施をしております。続きまして1地域福祉活動の推進(1)地域福祉活動事業、①小地域福祉活動推進事業、自治会単位で実施している「ふれあい茶話会」、「ふれあい昼食会」等への助成を行い、地域住民と高齢者相互の親睦交流を深める小地域助け合い運動を進めました。平成29年度は22自治会に301,300円の助成実績でございました。②民生委員児童委員協議会活動との連携ということで、地域福祉活動を推進するため、民生委員児童委員協議会の定例会議開催時に、情報提供や意見交換等により連携を図りました。平成29年度実績は心配ごと相談事業での連携、個別ケース対応協議を1件行っております。③共同募金助成金事業ということで、町民の皆さまからお寄せいただいた赤い羽根共同募金の助成を受けまして、地域福祉の推進を目的とした事業を行っております。平成29年度実績は5つの事業に859,426円、社会福祉協議会ではい

きいきサロン燦々開催事業、ボランティアセンター運営事業、それから高齢者クラブ連合会では生きがづくり講演会開催事業、身体障害者福祉協会では軽スポーツ大会開催事業、睦会（母子会）ではひとり親世帯支援事業に助成をいただき実施をしたものでございます。4 ページにまいりまして、④歳末たすけあい募金助成金事業、歳末慰問金配布事業ということで、ひとり親、心身障がい者、低所得者等の世帯に慰問金の贈呈を行っております。平成29年度実績は34件で170,000円です。それからおせち料理宅配事業ということで、80歳以上のひとり暮らしの高齢者に対しておせち料理を宅配しております。29年度の実績は100件350,000円の実績です。⑤要援護者支援事業ということで、「隣近所が支え合って安心して暮らせる地域づくり」を目指し、自治会及び民生委員と連携して、地域に暮らす独居高齢者世帯や災害時要援護者の把握に努め、隣近所による日常的な安否確認、見守り活動への支援を行いました。実績につきましては、地区別要援護者支援マップを作成し対象者が67名でございました。⑥地域支え合い体制づくり事業、浜町、高岡第1自治会を対象に合同で地域勉強会を（計3回）実施し、孤立防止や安全見守り等の具体的な方法案について検討いたしました。また、第7、第8自治会を対象に、緊急時の連絡体制の整備及び行方不明者が出た際の初動の対応方法を学ぶSOS徘徊搜索模擬訓練を行いました。こちらにつきましては44名の参加でございました。（2）ボランティアセンター事業ということで、①ボランティア活動支援事業につきましては、町内で活動するボランティアのボランティア保険への加入手続き、必要に応じた送迎等の支援を行っております。実績としましてボランティア保険加入者122名で団体、個人合わせての人数でございます。②ボランティア相談事業ということで、ボランティア活動に関する相談、ボランティアの依頼等、相談活動と需給調整を行いまして、依頼件数が29件、すべてで調整を行っております。5 ページにまいりまして、③ボランティア連絡協議会支援事業では、町内のボランティアグループ及び個人ボランティアが協働して活動の振興を図ることを目的として設置されております「ボランティア連絡協議会」の研修会、事務局運営の支援を実施しております。④豊浦町赤十字奉仕団につきましても奉仕活動や各種研修会への支援を行っております。⑤高齢者の花いっぱい運動への支援につきましては、平成29年度は3クラブに対しまして30,000円を助成し町内美化活動を推進しております。⑥ボランティア養成事業ということで、外出支援やお話し相手等のボランティアの育成を目的にボランティア養成講座（計5回）を開催したほか、過去の受講者に対しフォローアップ講座を1回開催しております。（3）広報・福祉啓発・福祉学習事業ということで、①ふれあい健康づくりスポーツ大会開催事業を開催いたしまして、実施日が6月24日（土）、参加者が196名で町内の福祉団体の会員、施設入所者が一堂に会し、軽スポーツを通じて交流を図っております。②ふれあい広場・健康まつり開催事業ということで、地域の皆さんが集い、町内の各団体が持てる力を出し合って、共に助け合える明るいまちづくりと、保健・福祉に対する理解を高めるために町保健センターと連携しまして開催している事業ですが、9月9日（土）に開催し、参加者が約400名でございました。また、平成29年度より公民館まつりと共催という形で実施しまして、社

会教育関係の団体の参加等内容をより充実させて開催したところでございます。6ページにまいりまして、③広報誌「ひろがり」発行事業で、こちらは年3回発行しております、町内の福祉やボランティアについての情報提供を行うために、広報紙を発行しております。29年度につきましては8月、11月、1月に発行しております、2月に臨時号、その他に社協のホームページやフェイスブックでも随時情報提供を行っております。(5)福祉団体事業ということで、下記の団体の事務局運営を行っております。続きまして2福祉サービス利用支援の推進(1)福祉相談事業①心配ごと相談事業、福祉に関する悩みごと、心配ごと等の相談に応じ、問題解決の手助けを図りました。②相談活動の充実ということで、福祉ニーズとサービスを結ぶ支援体制として、民生委員児童委員協議会や他機関と連携を図りながら総合的な相談活動を実施しております。29年度の実績は40件でございました。③豊浦町相談支援事業ということで、地域の障がい者等の福祉に関する問題について、相談に応じまして必要な情報提供等を行っております。29年度は36件の実績でございました。④障がい者・児相談支援事業ということで、町内の障がい者や児童を対象に障害福祉サービスの利用支援や計画作成、基本相談等を行うとともに、権利擁護のための必要な援助を実施しました。平成29年度計画作成契約件数が18件、内児童2件の実績でございます。7ページにまいりまして、(2)福祉サービス利用支援、日常生活自立支援事業につきましては、①苦情解決窓口設置事業では第三者委員を2名設置しまして適切な福祉サービスの提供に努めましたが、29年度につきましては0件の実績でございました。②日常生活自立支援事業では、判断能力が不十分な人が、地域で自立した生活が送れるよう、生活支援員による福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理、通帳・証書等の書類の保管等、公正かつ適切な方法で支援するというものですが、29年度の利用件数は0件でした。③成年後見制度の活用・啓発ということで、財産管理や施設入所等、契約や遺産分割を自分で行うことが困難である人に、制度の普及・啓発に努めるとともに、相談援助等の支援を実施しまして相談件数1件でございました。④権利擁護市民後見のサポート機能の充実につきましては、市民後見サポートセンターが室蘭市社協に西胆振地域共同で設置されたことからこれとの連携に努めております。⑤あんしんお預かりサービス事業(玄関カギ、預金通帳等の一時預保管)につきましては、日常生活自立支援事業の対象とならない場合で、住宅のカギや預金通帳等の管理に不安のある方からそれらを預かり、不安の解消に努めております。29年度利用件数は2件でございました。

(3)福祉資金貸付事業、①生活福祉資金貸付事業につきましては、北海道社会福祉協議会が行っております低所得者への貸付事務手続を市町村社協が行っております、29年度新規貸付0件、償還継続中8件という実績でございました。②たすけあい金庫(小口資金)貸付事業につきましては豊浦町社協の事業になりますが、低所得等により支援が必要な世帯に対しまして、資金の貸付と必要な援助を行っております。29年度実績は貸付6件の390,000円、未償還残高6件120,000円、返済債権権利放棄件数2件67,000円でございます。8ページにまいりまして、3在宅福祉サービスの拡充(1)在宅福祉サービス事業、①配食サービス事業、高齢等で食事づくりが困難な方に、食事の調

理と宅配を社会福祉法人豊浦豊和会に委託しまして、週3回、月、水、金曜日に栄養のバランスのとれた温かい食事を提供しております。利用料金1食300円で29年度実績は1,063食となっております。②高齢者等移送サービス事業につきましては、医療機関の受診及び入退院等に際し、公共交通機関を利用することが困難な高齢者等に対して移動手段を提供するために、やまびこの事業の支援を行っております。③高齢者等移送サービス事業（介護保険事業）となっておりますが、介護保険事業所の認定作業が協議中のため、町業務の補助として対応しております。④除雪費用助成事業で、病弱等で除雪が困難な高齢者世帯等に対しまして、玄関から道路までの除雪費用を助成しております。1世帯あたり30,000円を上限に助成しております。29年度実績は43件で1,130,000円となっております。当初予算は50件で1,500,000円でしたが、雪の多い、少ないや対象者の状況によって変動しております。⑤ふれあい通信事業ということで、80歳以上の一人暮らしの高齢者名簿を作成し、往復はがきや電話等を利用して福祉ニーズの発見に努めております。年間3回、対象者数121名でございました。⑥車いす貸出事業ということで、病气やケガ等で自力歩行が困難な方に車いすを一時的に貸出するもので、利用料金は無料、貸出期間6ヶ月以内となっております。29年度実績は貸出件数9件でございました。⑦ひとり親世帯支援事業ということで、ひとり親世帯の児童に対しまして、豊浦町睦会（母子会）と連携して修学のための商品券を贈呈しております。29年度実績は対象者数19世帯でございます。9ページにまいりまして、⑧「介護予防・日常生活自立支援総合事業」実施に向けての協力につきましては、平成29年度からの事業実施ということで、社協が中核組織として、行政や関係機関、地域住民と連携して事業を推進していきけるよう生活支援コーディネーター1名を社協に配置しまして、行政機関、地域住民と連携して事業の推進に努めております。

(2) 介護予防支援事業、①いきいきサロン開催事業、高齢者の閉じこもりの防止、孤立感の解消、生活意欲の増進、健康維持向上等を目的に、住民当事者とボランティアが協働でその内容を企画運営する「いきいきサロン燦々」を毎月1回町内3地区の本町地区、大岸地区、礼文華地区で実施しております。利用者の実績につきましてはご覧の通りとなっております。②地域サロン開設サロンサポーターの育成事業ということで、自治会が中心となって開催できるよう、地域サロンの企画・運営、サポーターの養成に対する支援を行っております。原則毎月1回で船見ヶ丘、7・8、東雲1区サロン、高岡第1サロンの支援を行っております。4 社会福祉協議会の基盤強化 (1) 法人運営事業①特別会員の加入促進ということで、特別会費については住民に社会福祉協議会の活動等を広く理解してもらうとともに、効率的な地域福祉活動を進めるため、特別会員の拡充に努め財源の確保を図っております。29年度実績は40件で327,892円となっております。②経営体制の充実、③情報管理体制の充実、10ページにまいりまして、④公費の導入、⑤事務局体制の充実につきましても計画通り実施をしております。

(2) 企画・調査研究事業①社会福祉関係事業所との連携と情報の共有体制の確保、②職員の資質向上に向けた取り組みということで、29年度の主な実績は社会福祉協議会関係を載せてございます。③調査研究事業では、在宅福祉サービス



の充実や地域福祉を推進していくために、各種ニーズ調査等を通じまして、住民の福祉に対する要望や意見の把握を行っております。続きまして11ページをご覧くださいと思います。事業状況資料(1)ということで会員、会費の状況でございます。平成15年度から一般会費、特別会費をそれぞれ載せておりまして、一番下の太枠で囲んでいるところが平成29年度の実績でございます。一般会費が1,645世帯に500円で依頼をしておりまして822,500円、特別会費につきましても町内にある事業所、団体40件から327,892円頂いております。合計金額が1,150,392円でございます。会費収入につきましても、概ね横ばいで推移してございますが、一般会費については世帯数の減少で年々減少傾向となっております。12ページにまいりまして(2)寄付金の状況になりますが、一番下の29年度実績が12件で560,000円という実績でございます。13ページにまいりまして、(3)たすけあい金庫貸付の状況でございますが、下から2番目の29年度の欄をご覧ください。期首の貸付6件で125,000円、期中貸付が6件で390,000円、償還が6件で395,000円、期末の貸付が6件で120,000円となっております。償還金支払免除(権利放棄)2件67,000円でございます。(4)事業収入の状況でございますが、29年度障害福祉サービス費ということで774,200円の実績でございます。これは相談支援事業所が障害福祉サービスを利用する人に対しまして計画を作成したり、モニタリングを行った際の給付でございます。こちらが社協の事業収入自己財源ということになっております。それから14ページに参りまして、月別受託事業報告を載せてございます。また、15ページ以降には事業経過報告を載せてございますので、説明は割愛させていただきたいと思います。

高橋局長 続きまして、議案第2号の決算の報告をさせていただきます。議案書の5ページをご覧ください。議案第2号平成29年度本部会計収支決算報告についてご説明をさせていただきます。平成29年度本部会計収支決算について下記のとおり調整したので、定款第40条第1項の定めにより、これを報告し承認を求めらるものでございます。まず、決算の額でございますが、事業活動におきましては、収入が39,286,710円となっております。予算と比べますと1,587,290円の減少となりました。一方支出でございますが、40,113,323円の決算であり、予算比では1,663,677円の減少となりました。このことから、差引額では、予算では903,000円の不足を見込んでおりましたが、決算では826,613円の不足ということになりました。次に施設整備関係でございますが、収入はございません。支出では148,068円となり、予算から932円の減少となっておりますが、予算計上の際の千円単位でまとめる端数の関係でございます。予算通りの執行と言うものでございます。このことから、差引額では、支出金額そのまま不足金額となっております。次に、その他の活動関係ですが、収入1,867,028円であり予算比較では627,028円の増加となりました。また、支出では23,128円の決算となっております。予算比較では164,872円の減少となっております。このことから、差引額では、予算では1,052,000円の残額を予定しておりましたが、決算では1,843,900円と大きな残額となったところでございます。この要因としましては、事業活動に対する町補助金の交付に未確定の部分があったことから、3月末における赤字を避けるために未確定相当金額

を含めて社会福祉事業積立金を取崩したことによるものです。最終的には町から補助金が交付されることとなったことから、この補助金相当額を多く取崩した決算という形になりましたが、この多い部分については、普段の支払い決済を行うための運転資金に振り替わるものであり、総体的な資金保有額では、収支均衡に必要な金額のみが取崩したということになっております。具体的な内容については、決算の項目の中でご説明をさせていただきます。それでは続きまして、決算の主な内容について説明させていただきますので、別冊で配布しております資料2の決算資料をご覧くださいと思います。1ページの事業活動による収入ですが1番の会費収入では、只今事業実績の方でもご説明ありましたが自治会を通じていただいた一般会費は若干減少したものの、事業所等からいただいた特別会費が増加しましたことから、総額では予算に対して19,392円多い1,150,392円の収入となりました。次に2番の寄附金収入については、前年度実績の約90%を見込んでおりましたが、それよりも154,000円多い560,000円の収入となりました。件数でも8件から12件に増加しております。多額のご寄付をいただいたことに改めてお礼を申し上げます。次に3番の経常経費補助金収入でございますが、豊浦町からの補助金として運営費補助金では、3月20日に開催しました平成29年第2回評議員会において、838,000円を減額したところですが、3月末になりまして補助金対象経費でございます人件費の積算に誤りがあったことに気づき、正しい費用で計算しましたところ、当初予算通りとなったことから、減額した相当額が多く交付された形となったものでございます。また、この838,000円については、社協としていったん減額補正をしたものであり、町からこのお金が交付されるかどうか3月末で不確定であったことから、赤字決算となることを避けるため、この相当額を上乗せして社会福祉事業積立金から取り崩したものです。予算管理並びに経費処理において、単純なミスとはいえ、大きな欠損を出す虞もあったものであり、今後は、このことを教訓として一層の注意をもって事務処理を行っていくことで職員とも確認したところでありまして、監事さんからも監査の際に同様の指摘を受け、監査意見として特記されたものでございます。評議員の皆様もご了承のほどお願いいたします。次の配食サービスおよび除雪費用助成金ですが、こちらについては事業の実績により費用の全額を町からの補助金として交付を受けたところですが、実施件数が減少したことから減額となったところです。ふれあい広場関係の補助金につきましては、予定した金額を受けております。共同募金配分金収入では、いきいきサロンや茶話会の老人福祉活動費及び障がい者福祉活動費の補助として一般募金収入および歳末たすけあい事業を財源として、それぞれ必要金額の配分を受けたところでございます。次に4番の受託金収入でございますが、支え合い体制づくり事業の実績相当として、並びに生活支援コーディネーター及び障がい者の一般相談事業に係る人件費等として豊浦町からの収入となっているものでございます。北海道社協からの受託金につきましては、道社協の算定基準により交付されたものです。このうち、日常生活自立支援事業につきましては、契約実績がないことから収入はゼロとなっております。5番の貸付金収入では、たすけあい金庫貸付金の返済額でございまして395,000円の返済となっております。6番の事業収入では、2

ページになりますが、いきいきサロンの参加料や障がい者のサービス利用計画作成の収入となっておりますが、サービス利用計画作成業務契約件数が予定よりも増えていることから、予算に比べ 71,200 円の増収となったものでございます。次に 7 番の負担金収入では、配食サービス利用者からいただく 1 食 300 円の負担金でございまして、当初予定では 1,560 食の予定でしたが、実績では 1,063 食に減ったことから、予算より 149,100 円少ない 318,900 円の実績となったものでございます。9 番の受取利息は、預金の利子となっております。10 番のその他収入では、コピー機の使用料や供花ポスターの販売収入などで、271,911 円の収入となっております。以上のことから事業活動の収入合計では 39,286,710 円となりまして、予算と比較し 1,587,290 円の減少となったものでございます。次に事業活動による支出ですが、1 番の人件費では 29,907,329 円の執行額となりました。給料支出では予算通りの執行でございましたが、諸手当の項目で、補正予算の際の見積もり誤りと職員の 1 名増員に伴う期末勤勉手当及び住宅手当などが増加したことによりまして 357,685 円の増、また法定福利費におきましても社会保険の料率と算定区分の引き上げなどによりまして 692,848 円の増額執行となったものでございます。次に 2 番の事業費支出ですが 2,532,068 円の執行となりました。予算と比べますと 448,932 円の減少となったものです。主な内容でございますが、業務委託費におきまして食数の減少により 324,200 円の減。また、ふれあい広場事業において、教育委員会の公民館まつりとの共催となったことから、経費の負担配分により 98,927 円の減、および介護業務担い手確保緊急対策事業補助において、対象者が 8 名から 7 名に減ったことによりまして 99,709 円の減少となったことによるものでございます。3 ページにまいります、3 番の事務費支出ですが、3,959,935 円の執行となり、予算から比べますと 81,935 円の増加となりました。このうち、福利厚生費では、新規採用職員の採用時健康診断費用、並びに事務消耗品費でロビーのマット購入費、燃料費では、灯油の値上がりとロビーへのストーブ設置によりそれぞれ使う量が増えたことによる増額となったことが主な要因ですが、その他の費用につきましても多少の増減がありますが、節減に努めながら執行いたしましたところでございます。次に 4 番貸付金支出でございまして、たすけあい金庫の貸付といたしまして 6 名の方に 390,000 円の貸付けを行いました。返済が若干遅れ気味の方もおりますが、滞納に至らないうちに返済するよう対応しております。次に 5 番の共同募金配分金事業費では、1,525,191 円の執行でございまして、予算から比べますと 334,809 円の減少となりました。このうち、いきいきサロンや地域サロンの老人福祉活動費で 257,522 円の不用額が生じており、これが大きな要因となっております。また、ボランティア活動育成事業費でも 37,287 円の不用額が生じていますが、他の事業費については予定通りの執行となっているものでございます。4 ページですが、7 番助成金支出では、1,604,300 円の執行でございまして、予算から比べますと 402,700 円の減少となりました。除雪費用の助成金で 50 件 1,500,000 円を予定していましたが、実績では 43 件の 1,130,000 円となったことから、370,000 円が不用となったことによるものでございます。8 番の負担金支出では北海道社協等への負担金として 194,500 円を予定通り執行しま

した。以上のことから、事業活動の支出合計では 40,113,323 円となり、予算から見ますと 1,663,677 円の減少となりました。このことから、事業活動における収支差額では 826,613 円の不足が生じたところですが、補正予算後との比較では、78,387 円の不足額が改善されたところでございます。次に、施設整備等による収支でございますが、まず、収入はございませんでした。5 ページに移りまして、支出ですが、2 番の固定資産取得支出として職員増に伴うノートパソコン1 台の購入費として 148,068 円を執行いたしました。このことから、施設整備に係る収支差額では、148,068 円の不足となったものでございます。次にその他の活動による収支ですが、収入では、社会福祉事業積立資産から、事業活動での収支不足額として 826,613 円及び施設整備予算の収支不足額として 148,068 円、また、3 月末における町からの補助金の未確定相当額として 870,319 円の合計 1,845,000 円を取り崩したことから、予算から比べますと 793,000 円の増加となったものでございます。また、14 番のサービス区分間繰入金収入では、主に共同募金配分金事業に係る収入・支出を計上しているもので、22,028 円の収入、予算から 165,972 円の減少となったものです。このことから、その他の活動による収入合計では 6 ページになりますが、1,867,028 円となり、予算から見ますと 627,028 円の増額となったものでございます。一方の支出ですが、16 番の共同募金配分金事業へのサービス区分間支出が主なものとなっております、支出の合計では 23,128 円となり、予算からは 164,872 円の減少となりました。以上のことから、収支差額では、1,843,900 円の残額となったものでございます。このことから、事業活動の収支、施設整備等の収支、およびその他の活動の収支の総額では、42,114,000 円の予算に対しまして、収入では 41,153,738 円、支出では 40,284,519 円の執行となり、収支差額では 869,219 円の残額が生じたものですが、社会福祉事業積立金取崩の項目でも説明しましたとおり、870,319 円を多く取り崩していることから。積立金が事業運営上の決済資金に振り替わったこととなったものでございます。次に 7 ページですが、本部会計合算の貸借対照表となっております。流動資産から流動負債を引いた 4,939,446 円が 29 年度末での支払資金の残高となっております。また、8 ページから 10 ページは、資産並びに負債の内訳となっておりますので御目通しを願いたいと思います。また、固定資産のうちのその他の固定資産の内訳は 40 ページの基本財産及び固定資産の明細書に記載しておりますが、車輛・備品の簿価価格でございます、41 ページは退職共済の預け金、58 ページは社会福祉事業並びに自動車購入の積立金となっておりますので後ほど御目通しをお願いします。また、その他諸々の計算書並びに明細書等を添付しておりますが、時間の関係上説明は割愛させていただきますたくご了承願います。以上で、議案第 2 号平成 29 年度本部会計収支決算の説明を終わります。

議長 ありがとうございます。質問に入る前に監査報告を監事のほうからお願いしたいと思います。

監事 それでは私の方から、平成 29 年度決算監査をご報告させていただきます。監査は前野さんと 4 月 25 日社協の事務所で行いました。社会福祉法人豊浦町社会福祉協議会定款第 22 条により、平成 29 年度事業執行・会計・財産内容に

ついて監査したので下記のとおりご報告いたします。監査日時は先ほど申し上げた通り4月25日。監査場所は社協事務所。監事は私と前野さんの二人でした。監査の実施内容につきましては平成29年度の事業活動、法人運営事業会計監査について。監査の意見としまして、今回の平成29年度の事業実施については計画に基づいて実施されており適正と認めます。今回平成29年度会計監査は、資金収支計算書等事業活動収支計算書・貸借対照表の3表、並びに預金通帳・証書・関係書類いずれも適正に処理されているものと認めます。3番目といたしまして、予算（補正を含む）編成管理については十分な注意を持って行うということで意見を述べさせていただきます。

議長 はい、ご苦労様でした。それでは議案第1号平成29年度事業報告、それから第2号平成29年度会計収支決算報告につきましてご意見ございましたら、皆さんよろしく申し上げます。

中村評議員 はい。

議長 はい、どうぞ。

中村評議員 事業実績報告書の7ページのたすけあい金庫貸付事業についてお聞きしたいと思います。ここの最後に返済債権権利放棄件数2件と書いておりますが、この内容をお聞きしたいと思います。

議長 はい、事務局よろしく申し上げます。

高橋局長 この放棄の件について、平成29年に行われたものではなく、27年度に実は回収債権の放棄したものでございます。内容につきましてはお二人の方がいらっしゃるしまして、二人とも居所不明ということで、郵便等お出ししても連絡がつかない。ということでございまして、年数も相当経っていたということから理事会評議員会で議決を得て放棄をしたものでございます。

中村評議員 住居不明ということは死んだということですか。死んだのであれば住居不明というのは今の日本の社会の中で住所不明というのがおかしいように感じますがどうということですか。

議長 事務局お願いします。

高橋局長 亡くなったとは聞いてはいませんが、結局町外に転出されてしまって、その後、住所を移さないでどこかへ行ってしまったとか、そういうケースなんです。ですから郵便局に転居の届を出していれば転送はされるのですが、そういうものをされないでどこかに行かれてしまったということでこちらとしては追いかけるようがない。今行政機関も個人情報の保護ということで簡単に住所照会を応じてもらえないというような事情もございまして、これ以上お二人の方について追跡ができないということで権利を放棄したということでございます。

中村評議員 書留郵便等の郵便局のサービスを利用して送付した場合本人宅へ届くものではないのでしょうか。というのは債権放棄をしたということが町民に周知されれば悪用する人も出てくるかもしれない。この放棄2件がどのような条件だったのか詳しくはわからないが、そのようなサービスを使えば住所を追跡できるのではないのでしょうか。

高橋局長 普通郵便でも書留郵便でも居所がわからなかったら届けようがないです。たしかに書留だとか配達証明だとかでやればいけません、配達できませんで戻ってき

ますし、普通郵便でもそこにいなければ配達できませんとなります。どちらでも同じです。記録証明が残るかどうかだけの違いです。ご指摘のとおり、回収できなかつたら債権放棄しますということが広く知られるとそれを悪用されるという虞もあるという心配はもっともだと思いますけど、そうならないように我々としても普段から借受者に対して接触を持って定期的に返済に努めてもらうあるいは多少遅れてもきちっと返してもらうという説得を続けている。そうゆう対応をしておりますので、平成27年度に放棄したこの方については10年以上前に貸し付けてずっとそのまま居所がわからなくて保留になっていた案件でございまして、これはちょっと特殊なケースです。あまりそういうことは考えてはいないです。十分気を付けて対応します。

中村評議員 今後こういうことが皆さんに周知されて償還しなくても良いんだというようなことになった場合に悪用されることも考えられますので質問させていただきました。ありがとうございました。

議長 はい、よろしいですね。次にどなたかありますか。  
(なしの声あり)

議長 議案第1号平成29年度事業報告について、承認を賜りたいと思います。よろしいでしょうか。

評議員全員 はい

議長 はい、ありがとうございます。承認されたとします。議案第2号平成29年度会計の収支決算報告についてこちらについても承認願いたいと思います

評議員全員 はい

議長 はい、皆様から賛同いただいたということで承認を得たということといたします。

#### **その他** 今後の会議の予定について

議長 続きまして第7番その他について、事務局お願いします。

高橋局長 それではその他ですが、今後の予定でございますが、来月23日に恒例の第16回ふれあい健康づくりスポーツ大会がふるさとドームで行われますので、評議員の皆様におかれましてもお時間がありましたらこのような活動もしているところをご覧いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。こちらからは以上でございます。

議長 はい、他何もないようですから、その他何か関係したこと、何か聞きたいことがありましたら質問をお願いします。無いようでしたら今回の議事を終了させていただきます。スムーズな議事進行にご協力ありがとうございました。

高橋局長 高橋さん、議長の役大変ありがとうございました。それでは閉会にあたりまして、高橋副会長からご挨拶を申し上げます。

高橋副会長 ～挨拶～

高橋局長 以上をもちまして、平成30年度定時評議員会を終了させていただきます。まことにありがとうございました。